

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東郷町役場	代表者名	井俣 憲治
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0561-56-0716
担当者役職	主事	担当者氏名	関口 遥香
住所	470-0198 愛知県東郷町大字春木字羽根穴1番地		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	本町の現状や課題に合わせた内容で、かつ、本講演会の対象者（課長級職員）に響くような講演をしてくださったため。今後の行政の在り方等を見直すきっかけになったため。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月28日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 副町長、課長級職員、企画情報課（事務局）	人数 31人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） 自治体DXの推進にあたって、組織全体への波及や意識醸成について、組織内部からではスピード感をもって対応することが難しい状況である。</p> <p>支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） 東郷町デジタルトランスフォーメーション推進委員会において、今回の講演では課長級職員を対象としているため、幅広い部門の職員のDXに対する意識の向上を目指す。また、本町の自治体DXに対する課題分析の方法や取り組むべき方向性について明確にする。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） 本町の現状や課題に合わせた内容で講演していただき、幅広い部門の職員が積極的にDX推進に取り組めるよう意識改革につながる講演をしていただいた。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい） 今までDXに対してあまり意識していなかった職員にも、今回の講演を通してDX推進は喫緊の課題であることを認識していただいた。行政が3年で変わることは難しいため、10年後の行政のためには今から取り組む必要があることを実感していただいた。</p> <p>具体的な成果物 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p>	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 【講演内容に関する意見・感想及び今後どのように活用していくか】(主な意見等) ・「計画的であることより臨機応変であること」「無計画社会」というワードに衝撃を受けた。 ・役場の業務はデジタル化が進んでいないと感じるため、利用者目線でデジタル化を進めていきたい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	デジタル技術とデータを活用した住民本位の行政と地域社会の実現	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

